

SBIインド & ベトナム株ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第18期(決算日:2016年6月6日)

作成対象期間(2015年12月5日～2016年6月6日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIインド&ベトナム株ファンド」は、2016年6月6日に第18期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第18期末(2016年6月6日)

基準価額	7,901円
純資産総額	8,317百万円
第18期	
騰落率	△8.0%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択⇒「目論見書・定期レポート等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木 1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間: 営業日の 9:00～17:00

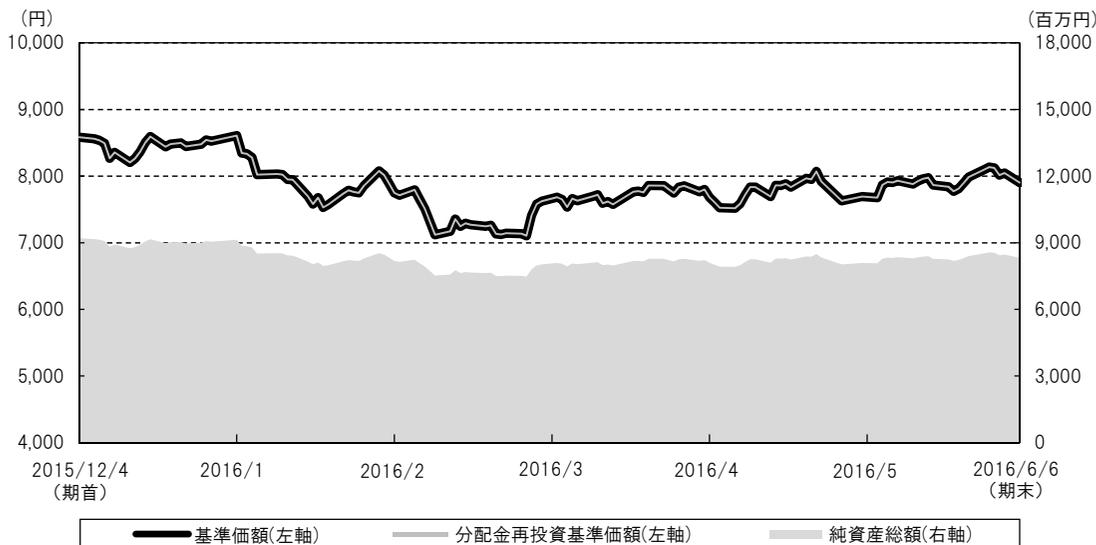
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2015年12月5日～2016年6月6日)



期 首:8,584 円
 期 末:7,901 円(既払分配金(税込み):0 円)
 騰 落 率:△ 8.0%(分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年12月4日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、インド株式市場やベトナム株式市場は上昇したものの、通貨インドルピーや通貨ベトナムドンが対円で下落したことなどをを受け、期を通じて下落しました。期初は、インド市場の上昇などにより、2016年1月4日に最高値である8,608円を付けました。しかしその後は中国株式市場の急落に加えて、原油相場の下落により世界経済の先行き不透明感が高まったことから、インド市場やベトナム市場は大幅下落となり、為替相場もリスク回避の円買いによる円高基調が継続し、3月1日には当期の最安値である7,104円まで下落しました。後半は、インド準備銀行による利下げなどによりインド市場が反発基調となり、ベトナム市場も堅調に推移したことから、期末にかけては緩やかながらも上昇に転じました。しかしながら、為替相場の円高進行によりインドルピーやベトナムドンは対円で軟調に推移したことから、当期末の基準価額は7,901円となり、期を通じて△8.0%の下落となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2015年12月5日～2016年6月6日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	86 (53) (30) (3)	% 1.092 (0.666) (0.382) (0.044)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	4 (4)	0.051 (0.051)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.037 (0.037)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	20 (9) (1) (10)	0.249 (0.112) (0.013) (0.125)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 インド株式の売買益におけるキャピタルゲイン課税等、信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	113	1.429	
期中の平均基準価額は7,900円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年6月6日～2016年6月6日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算し、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2011年6月6日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2011年6月6日 決算日	2012年6月4日 決算日	2013年6月4日 決算日	2014年6月4日 決算日	2015年6月4日 決算日	2016年6月6日 決算日
基準価額 (円)	5,388	3,953	5,843	6,892	8,824	7,901
期間分配金合計(税込み) (円)	0	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	△ 11.9	△ 26.6	47.8	18.0	28.0	△ 10.5
SENSEX 指数騰落率 (%)	△ 3.3	△ 31.8	53.1	24.6	21.6	△ 18.3
VN 指数騰落率 (%)	△ 31.0	△ 8.3	53.2	10.4	20.7	△ 7.8
純資産総額 (百万円)	11,308	7,418	9,077	8,574	10,390	8,317

(注1) 当ファンドは、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として、インドでは SENSEX 指数^{*}、ベトナムでは VN 指数^{*}を記載しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

※各指数は円建て

●代表的な指数に関して

・SENSEX 指数は、インドのムンバイ証券取引所に上場する銘柄のうち、流動性・取引規模・業種等を代表する 30 銘柄で構成された時価総額加重平均指数のことで、インド株式市場の代表的な株価指数です。

・VN 指数は、ベトナムの最大都市ホーチミンにあるホーチミン証券取引所に上場の全銘柄から構成される時価総額加重平均指数のことで、ベトナム株式市場の代表的な株価指数です。

投資環境

(2015年12月5日～2016年6月6日)

○インド株式市場

(12月)

・月半ばにかけて下落したものの、経済指標の改善などを受けて反発基調となり、月を通じてほぼ横ばいとなりました。

(2016年1月)

・中国株式市場の急落を受けてインド市場も下落基調が強まり、続落となりました。

(2月)

・世界の株式市場が下落する中、インド市場においても外国人投資家による売り越しなどにより、大幅続落となりました。

(3月)

・外国人投資家が買い越しに転じ、前月までの急落の反動を受け大幅反発となりました。

(4月)

・インド準備銀行の利下げ、外国人投資家による買い越し基調などから堅調推移となり、月を通じて小幅に続伸して取引を終えました。

(5月)

・原油相場の上昇基調を背景に引き続き投資家のリスク回避姿勢が後退し、内外投資家の買い越しにより大幅続伸となりました。

○ベトナム株式市場

(12月)

・外国人投資家が買い越しに転じたことや、堅調なマクロ経済指標を受けて小幅に上昇しました。

(2016年1月)

・中国株式市場の急落や同国の景気減速懸念、原油相場の下落などを受けてベトナム市場も軟調な展開となり、大幅反落となりました。

(2月)

・月初は原油安により軟調に推移したものの、外国人投資家が買い越しに転じたことから月末にかけて緩やかな上昇基調となり、小幅に反発して取引を終えました。

(3月)

・海外市場や原油相場の上昇を受けて月半ばまでは堅調に推移したものの、GDP 成長率の減速などを受けて月末にかけて下落基調に転じ、結局、月を通じて小幅高となりました。

(4月)

・リスク回避姿勢や米利上げ観測の後退に加え、原油相場の上昇などに下支えされ、ベトナム市場は大幅続伸となりました。

(5月)

・原油相場の上昇を受けてベトナム市場はエネルギー関連銘柄主導で上昇基調となり、月末にかけても底堅く推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年12月5日～2016年6月6日)

<当ファンド>

「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」といった各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

運用の再委託先である LGM・インベストメンツ・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、95%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は 96.0%となっております。

<ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

運用の再委託先である SBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドにより、インドの証券取引所で上場または取引されている株式の中から収益性や成長性等を総合的に勘案し厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、90%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は 98.5%となっております。

<SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

インドの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、99%以上の株式組入比率を維持しました。期末の株式組入比率は 99.1%となっております。

<SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式等を主要投資対象とし、収益性や成長性および流動性等を総合的に勘案した銘柄に厳選投資いたしました。

株式の組入比率に関しては、80%以上の組入比率を維持しました。期末の株式の組入比率は 87.6%となっております。

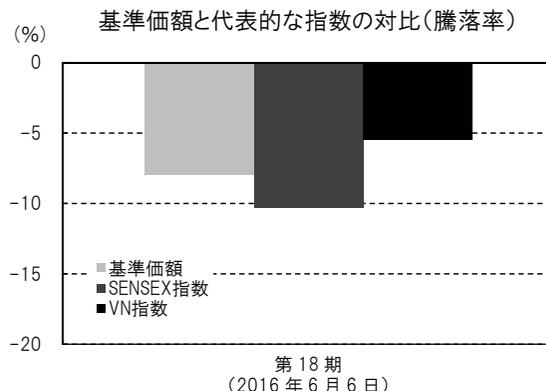
当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年12月5日～2016年6月6日)

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じてインド及びベトナムの2カ国の株式等に投資するファンドのため、ベンチマークは採用しておりません。

また、適当な参考指数もないことから当ファンドの基準価額と、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数としてインドでは SENSEX 指数[※]、ベトナムでは VN 指数[※]を記載しております。

※各指数は円建て



分配金

(2015年12月5日～2016年6月6日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第18期
	2015年12月5日～ 2016年6月6日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	422

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」の各受益証券を通じ、主としてインド及びベトナムの株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ってまいります。

<ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

運用の再委託先であるLGM・インベストメンツ・リミテッドは以下のようにコメントしています。

世界第7位の経済規模を持つインドは、「真の」新興国市場です。1人当たりGDPは2,000ドルを下回っているものの、経済の急成長は続いています。健全な民主主義や効果的な政策決定に加えて、好ましい人口動態やマクロ経済の改善は、インド経済や株式市場の見通しを長期的に下支えしています。LGM・インベストメンツのファンド・マネジャーは、引き続きインドには長期的な投資機会があり、質の高いインド企業は魅力的な投資先と考えています。

我々の短期的な投資戦略は、インドの長期的な成長見通しを捉えるものになっています。引き続きボトムアップ・アプローチにより質の高いインド企業への長期投資に注力する方針です。我々は、投資先企業の質を重視する投資哲学やボトムアップ・アプローチを採用し、国内重視のインド企業を選好していることから、生活費需品、一般消費財関連、金融の組入比率を高め、エネルギー、公益事業、ソフトウェア・サービス、電気通信サービスの組入比率を低下させています。

<ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

運用の再委託先であるSBI・ファンズ・マネジメンツ・プライベート・リミテッドは以下のようにコメントしています。

我々はインド経済の緩やかな回復に関して楽観的な見方をしており、財政赤字や経常赤字の縮小、インド準備銀行が好ましいとするレンジ内で推移するインフレ率、豊富な外貨準備高などマクロ指標の安定に加えて、自動車の販売台数、ガソリンやディーゼル油の消費量など数多くの個別指標にも改善傾向が示されています。我々は引き続き、持続的な超過収益を生み出す最良の方法として、広範な投資銘柄群(ユニバース)をカバーする経験豊富なりサーチ・チームを活用し、ボトムアップ・アプローチによる銘柄発掘に注力し続ける方針です。

当ファンドは、資本財、金融、一般消費財関連、素材の組入比率が高く、電気通信サービス、ヘルスケア、ソフトウェア・サービス、エネルギー、生活必需品の組入比率が低くなっています。今後3-6カ月間並びに今後1年間のインド株式市場の見通しに関して、我々は前向きな見方をしています。

<SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

5月から6月上旬にかけての州議会選挙における勝利やインド国会の上院議員選挙(一部改選)での獲得議席数の伸びにより、与党は引き続き改革を推進し、間接税導入の法案通過を目指しています。インド経済に関しては、GDP 成長率が加速し企業収益が改善する一方、原油相場の反発や食料品の物価上昇を受けてインフレは上昇しています。したがって、インド準備銀行による追加利下げは来年以降になるとの見方が広がっているものの、足元のインド経済は景気の回復基調が継続しており、中長期的には成長率の加速も見込まれます。インド株式市場に関しては、米国の利上げなど様々な海外要因の影響は受けつつも、外国人投資家によるインド株の買い越し基調が継続していることから、中長期的には緩やかに上昇していく展開が想定されます。

以上の見通しにより、インド株を主要投資対象とする上記の各受益証券については、ポートフォリオの 75～80%の比率を目標として運用する方針です。

<SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)>

ベトナム経済は、引き続き5～6%台の堅調な GDP 成長率が続く見込みであり、外国直接投資に加えて、自動車産業などの成長セクターを育成することにより、継続的な経済成長が見込まれます。ベトナム株式市場に関しては、堅調な企業収益に加えて、外国人保有上限の緩和や撤廃の動きが相場を下支えすることになりそうです。ベトナム株は直近で年初来高値を更新していますが、今年に入り急ピッチの上昇が続いてきたことから、利益確定売りも目立ち始めており、当面は一進一退の相場展開になると見込まれます。米国の追加利上げや原油相場の動向、中国の景気減速などが不安材料となっている一方、引き続き外国人投資家の買いが期待できることから、中期的には緩やかな上昇が期待されます。

以上の見通しにより、ベトナム株を主要投資対象とする上記の各受益証券については、ポートフォリオの 20%前後の比率を維持して運用する方針です。

※上記見通しと運用方針のうち、「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」および「ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」については、それぞれ運用の再委託会社である LGM・インベストメンツ・リミテッド、SBI・ファンズ・マネジメント・プライベート・リミテッドからのコメントを SBI アセットマネジメントにて和訳したものを記載しております。

お知らせ

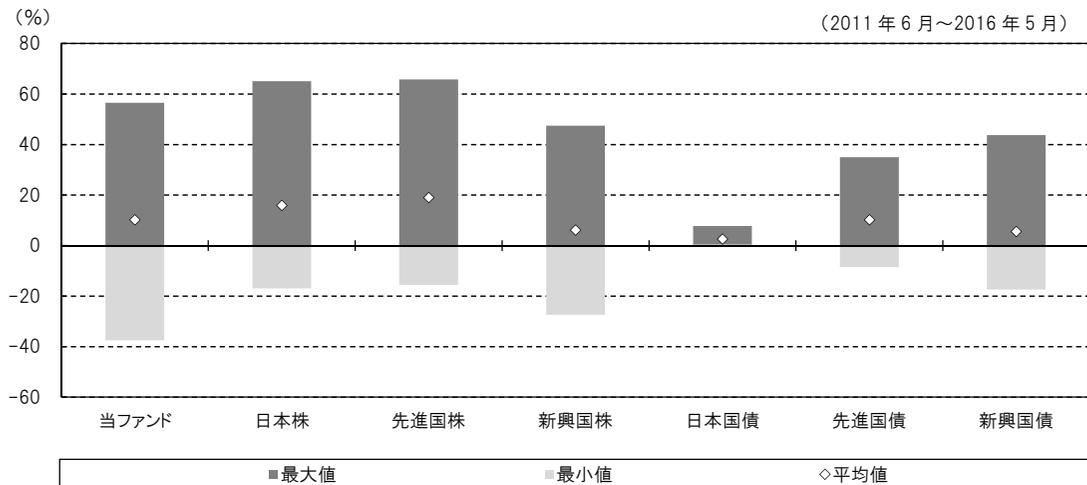
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	原則として無期限(クローズド期間はありません)	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「ステイト・バンク・オブ・インド インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」、「SBIAM インド株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」及び「SBIAM ベトナム株・マザーファンド(適格機関投資家専用)」受益証券(以下「マザーファンド」といいます。)を主要投資対象とします。
	ロイド・ジョージ インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	ステイト・バンク・オブ・ インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M インド株・ マザーファンド	インドの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)を主要投資対象とします。
	S B I A M ベトナム株・ マザーファンド	ベトナムの証券取引所で上場または取引されている株式(預託証券を含みません。)ならびに当該株式の値動きに連動する債券、新株引受権証券等を主要投資対象とします。
当ファンドの 運用方法	各マザーファンドを通じて主にインド及びベトナムの株式に投資を行います。マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。ベトナム株への実質的な投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産において、原則為替ヘッジは行いません。	
分配方針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等、委託者の判断により収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.5	65.0	65.7	47.4	7.7	34.9	43.7
最小値	△37.5	△17.0	△15.6	△27.4	0.4	△8.6	△17.4
平均値	10.2	15.9	19.0	6.1	2.6	10.2	5.6

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2011年6月から2016年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注4) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株:MSCI KOKUSAI(コクサイ)・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株:MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円ベース)

日本国債:NOMURA-BPI 国債

先進国債:シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債:JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数についての詳細は、最終ページをご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年6月6日現在)

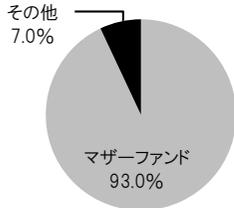
○組入上位ファンド

銘柄名	第18期末
	%
ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド	29.4
ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド	36.0
SBIAM インド株・マザーファンド	9.4
SBIAM ベトナム株・マザーファンド	18.2
組入銘柄数	4銘柄

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

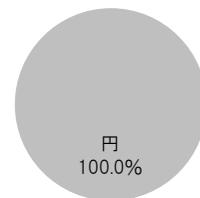
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

純資産等

項目	第18期末
	2016年6月6日
純資産総額	8,317,617,475 円
受益権総口数	10,526,783,416 口
1万口当たり基準価額	7,901 円

(注) 当ファンドの期首元本額は10,721,235,278円、期中追加設定元本額は365,528,517円、期中一部解約元本額は559,980,379円です。

組入上位ファンドの概要

ロイド・ジョージ インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年6月5日～2016年6月6日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年6月5日～2016年6月6日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	6 (6)	0.050 (0.050)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	7 (7)	0.059 (0.059)
(c) その他費用 (保管費用)	17 (17)	0.142 (0.142)
合計	30	0.251

期中の平均基準価額は、11,755円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2016年6月6日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
ITC	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	6.4%
イエス銀行	銀行	インドルピー	インド	5.9%
HDFC銀行	銀行	インドルピー	インド	5.4%
HDFC	銀行	インドルピー	インド	4.7%
マヒンドラ・マヒンドラ・ファイナンシャル・サービス	各種金融	インドルピー	インド	4.7%
ピディライト・インダストリーズ	素材	インドルピー	インド	4.5%
エマミ	家庭用品・パーソナル用品	インドルピー	インド	4.0%
シュリラム・シティ・ユニオン・ファイナンス	各種金融	インドルピー	インド	3.9%
インド・コンテナ	運輸	インドルピー	インド	3.9%
コタック・マヒンドラ銀行	各種金融	インドルピー	インド	3.5%
組入銘柄数	33 銘柄			

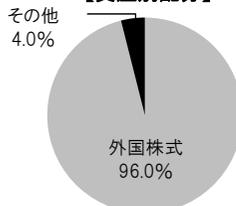
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC 銀行は HDFC のグループ企業です。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2016 年 6 月 6 日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

ステイト・バンク・オブ・インディア インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年6月5日～2016年6月6日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年6月5日～2016年6月6日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	21 (21)	0.163 (0.163)
(b) 有価証券取引税 (株式)	17 (17)	0.134 (0.134)
(c) その他費用 (保管費用)	70 (27)	0.546 (0.214)
(その他)	(42)	(0.332)
合計	108	0.843

期中の平均基準価額は、12,733円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2016年6月6日現在)

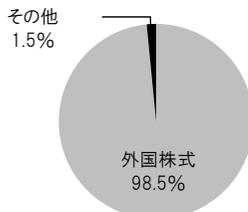
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
				%
インフォシス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	9.6
タタ・コンサルタンシー・サービス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	6.2
HDFC	銀行	インドルピー	インド	4.4
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インドルピー	インド	4.2
マルチ・スズキ・インド	自動車・自動車部品	インドルピー	インド	3.7
サン・ファーマシューティカル	医薬品他	インドルピー	インド	3.2
ヒーロー・ホンダ	自動車・自動車部品	インドルピー	インド	2.7
インドステイト銀行	銀行	インドルピー	インド	2.4
アショク・レイランド	自動車・自動車部品	インドルピー	インド	2.3
ジー・エンターテインメント・エンタープライゼス	メディア	インドルピー	インド	2.3
組入銘柄数	55 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

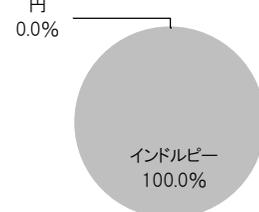
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2016 年 6 月 6 日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

SBIAM インド株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年6月5日～2016年6月6日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年6月5日～2016年6月6日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	10 (10)	0.112 (0.112)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	7 (7)	0.072 (0.072)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	42 (42)	0.456 (0.456)
合 計	59	0.640
期中の平均基準価額は、9,228円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2016年6月6日現在)

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
インフォシス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	10.4%
HDFC銀行	銀行	インドルピー	インド	9.3
ITC	食品・飲料・タバコ	インドルピー	インド	8.2
HDFC	銀行	インドルピー	インド	8.0
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	インドルピー	インド	6.4
ICICI銀行	銀行	インドルピー	インド	5.8
タタ・コンサルタンシー・サービス	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	5.6
ラーセン&トウプロ	資本財	インドルピー	インド	4.9
アクシス銀行	銀行	インドルピー	インド	3.8
タタ・モーターズ	自動車・自動車部品	インドルピー	インド	3.6
組入銘柄数	30銘柄			

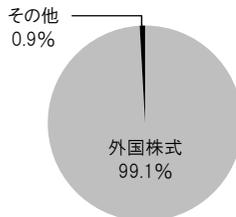
(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※HDFC銀行はHDFCのグループ企業です。

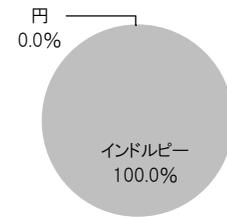
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2016年6月6日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

SBIAM ベトナム株・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年6月5日～2016年6月6日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年6月5日～2016年6月6日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	25 (25)	0.359 (0.359)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.005 (0.005)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	9 (9)	0.134 (0.134)
合 計	34	0.498
期中の平均基準価額は、6,986円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位 10 銘柄】

(2016年6月6日現在)

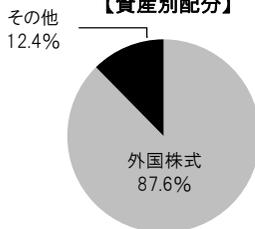
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
ベトナム乳業	食品・飲料・タバコ	ベトナムドン	ベトナム	33.2%
ピンググループ	不動産	ベトナムドン	ベトナム	10.5%
マサングループ	食品・飲料・タバコ	ベトナムドン	ベトナム	6.7%
ベトナムバンク	銀行	ベトナムドン	ベトナム	6.3%
ベトナムインバンク	銀行	ベトナムドン	ベトナム	4.9%
FPT	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	ベトナムドン	ベトナム	3.9%
ベトロベトナムガス	公益事業	ベトナムドン	ベトナム	3.4%
ベトロベトナム・ドリリング	エネルギー	ベトナムドン	ベトナム	2.3%
キンドー食品	食品・飲料・タバコ	ベトナムドン	ベトナム	2.2%
ハウザン製薬	医薬品他	ベトナムドン	ベトナム	2.1%
組入銘柄数	18 銘柄			

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2016 年 6 月 6 日現在のものです。

(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分は組入株式評価額に対する比率です。

< 代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数の著作権等 >

代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、SBIアセットマネジメントはその内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円ベース)は、MSCI inc.が開発した、世界の新興国の株式対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P.Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P.Morgan Securities LLC に帰属します。